

各ワーキンググループでの議論の経過

ワーキンググループの開催状況

12月23日 第3回 利活用ワーキンググループ

(主な議題)

- ・社会実験の振り返り
- ・ゾーンコンセプトの検討

(主な実施内容)

社会実験での感想・課題等を共有し、第2回利活用ワーキンググループで意見交換したゾーンコンセプトを再度検討。

5月22日 第4回 利活用ワーキンググループ

(主な議題)

- ・街並み活用戦略・街並みイメージ(案)について
- ・R7賑わい創出社会実験(案)の概要

(主な実施内容)

特徴やR6社会実験結果を基にしたゾーンと街並み活用戦略(取り組み、実践メニュー)の検討

7月31日 第5回 利活用ワーキンググループ

(主な議題)

- ・街並みづくりの基本的な方針(案)について
- ・街並みイメージ【拠点】(案)について
- ・街並み活用戦略・街並みイメージ(案)について
- ・R7賑わい創出社会実験の概要

(主な実施内容)

街並みづくり(取組み)に当たっての共通認識としての基本的な方針や、特徴やニーズ等を基にした拠点の空間イメージの検討

—

交通ワーキンググループ

- ・区において交通シミュレーション結果を踏まえて開催

○ ゾーンごとの街並みづくりイメージ

- ・ 引き続きゾーンごとの空間イメージ等を検討

利活用WGで検討
(本資料P.14～P.16)

○ 街並み活用戦略

- ・ 賑わいの演出等の観点からの取組みの検討
- ・ 将来的な管理運営体制の検討等

利活用WGで検討
(本資料P.4～P.13)

○ 街並み再整備方針

- ・ 周辺道路環境の変化を加味した交通シミュレーションの実施
- ・ ベース案や交通シミュレーションを踏まえた社会実験の実施と再整備方針の検討

実施中

今後交通WGで検討予定

○ 官民の役割分担

- ・ 官民の役割分担の整理等

利活用WGで検討
(本資料P.12)

○ スケジュール

基本計画へ

- ・ 将来ビジョンをベースにしつつ、議論を踏まえた街並みづくりの基本的な方針を検討
- ・ 各取組内容等を実施段階(中長期的・短期的)で整理

利活用WGで検討
(本資料P.4～P.5)

利活用WGで検討
(本資料P.13)

基本計画

将来ビジョンの街並みの将来像

目指す まちの姿

新しくて懐かしい 心躍る触れ合いのまち ナガマチ

目指す 通りの姿

歩いて楽しい 賑わいと交流が生まれる人中心の街並み

具体化された取組みの実施により、実現へ

基本的な方針 ⇒ 街並みづくり(取組み)に当たっての共通認識

戦略1
集客機能の
活用強化

戦略2
魅力的な個店
の増加

戦略3
周辺施設との
連携強化

戦略4
夜の賑わい
創出

戦略5
休日の持続的
な賑わい創出

戦略6
学生活動の
フィールド
活用強化

取組みの方向性

実践メニュー

1 長町らしさとともに

時代が移り変わる中、長町の風景や人々も例外なく変わっていきます。そのような中であって、時代とともに形を変えながらも、この地域の風景や人々の中に引き継がれていく長町らしさがあります。それは歴史的な地域資源であり、人情とも情緒とも地域への誇りや愛着ともいえるものでもあります。そのような長町らしさを大切にしながら、新しい魅力や文化を生み出し、この街並みづくりを進めていきます。

2 できることからどんどん、そして柔軟に

長町には、多様な主体が地域に愛着を持って様々な活動に自律的・積極的に取り組む姿があります。この街並みづくりににおいても、地域、事業者、行政が、それぞれでできることはそれぞれで、連携すればできることは連携して、できることからどんどん取組みを進めていきます。

また、変化が激しく、価値観の多様化が進む社会環境を踏まえ、この街並みづくりの計画を定めた後も、目的や趣旨を十分に踏まえた上で柔軟に見直しを行いながら、取組みを進めていきます。

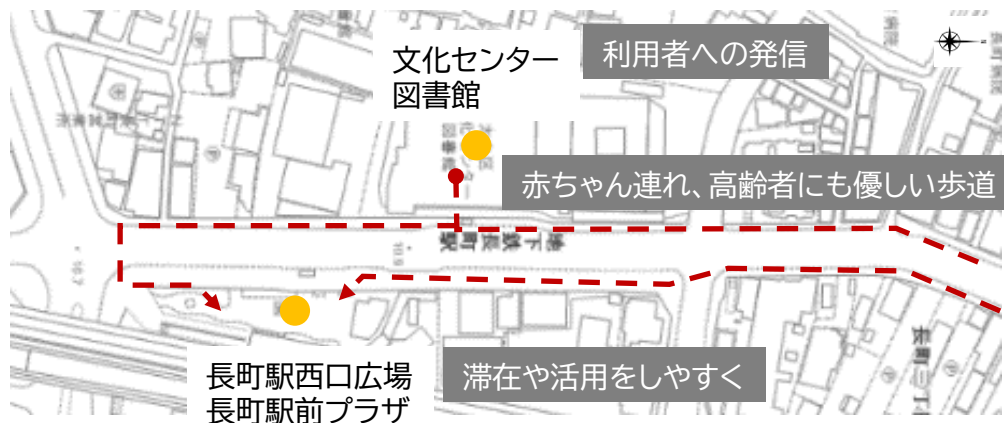
戦略1 : 集客機能の活用強化

- ・ 市内有数の交通結節点であるほか文化センター・図書館が沿道にあり、多くの人が訪れる特徴を活かす。
- ・ 訪れた人が旧国道4号沿道を歩き、長期滞在できるような戦略を立て、心地よい時間(とき)を提供する。

主なターゲット場所 : 文化センター・図書館、長町商店街のお店、長町駅前西口
 主なターゲット日時 : 平日AM～夕方
 主なターゲット区分 : 文化センター・図書館の利用者

★過ごし方の例

時間	場所	行動	移動手段
10:00	文化センター・図書館	学ぶ	公共交通機関・徒歩
12:00	長町商店街のお店	食べる・買う	徒歩
13:00	長町駅西口広場	休む・集まる・話す	徒歩
15:00	帰宅		公共交通機関・徒歩



取組みの方向性

- ① 商店街の魅力発信
- ③ 道路空間の再整備
- ④ 既存公共空間の機能強化

戦略2 : 魅力的な個店の増加

- ・ 笹谷街道から南側は土地の敷地が広く十分に活用されている一方、北側は細長い短冊状の区画が続き、駐車場や未利用地が多くみられる。
- ・ 社会実験では、飲食店を中心に賑わいや交流がみられたことから、長町商店街のポテンシャルを再確認できた。
- ・ 未利用地や空き店舗を活用したチャレンジショップや開業支援等により、出店しやすい、出店したいと思うような環境をつくり、個性的で魅力ある個店を増加させる。

主なターゲット場所 : 笹谷街道から北側の未利用地(駐車場含む)

主なターゲット日時 : 平日・休日

主なターゲット区分 : 長町商店街出店希望者・沿道土地所有者・不動産事業者



取組みの方向性

- ① 商店街の魅力発信
- ② 開業支援の強化
- ⑤ エリアマネジメントの推進

戦略3 : 周辺施設との連携強化

- ・ 周辺には多くの人を訪れる施設や史跡等(アリーナ、神社仏閣、広瀬川など)があるという特徴を活かす。
- ・ 長町商店街が主目的ではなくても、他の施設等を訪れる人が寄り道しやすい戦略を立て、賑わいを取り込む。

主なターゲット場所 : リップルロード・長町商店街のお店
 主なターゲット日時 : 平日・休日(特に89ERSの試合日・灯ろう流しなどのイベント開催日)
 主なターゲット区分 : 周辺施設等を訪れた区内外の方々

★過ごし方の例

時間	場所	行動	移動手段
11:45	長町一丁目駅・リップルロード	集まる	公共交通機関・徒歩
12:00	長町商店街のお店	食べる・飲む・話す	徒歩
14:00	アリーナ	観る・遊ぶ	徒歩
17:00	長町商店街のお店	食べる・飲む・話す	徒歩



周辺イベントの情報発信の一元化や周辺施設と連携した企画など

取組みの方向性

- ① 商店街の魅力発信
- ③ 道路空間の再整備
- ④ 既存公共空間の機能強化
- ⑤ エリアマネジメントの推進

戦略4 : 夜の賑わい創出

- ・ 社会実験のコンテンツ等により、夜に多くの人が訪れ、飲食を楽しんでいた。
- ・ 訪れた人が長町商店街エリアを歩き、飲食街やお店を利用しやすい戦略を立て、情緒にあふれる心躍る空間を提供する。

主なターゲット場所 : 長町駅西口広場・リップルロード・長町商店街のお店／道路・飲食街
 主なターゲット日時 : 平日・休日夕方～夜
 主なターゲット区分 : 長町駅・長町一丁目駅通勤利用者

★過ごし方の例

時間	場所	行動	移動手段
17:00	長町駅西口広場・リップルロード	集まる・調べる	公共交通機関
17:30	長町商店街のお店／道路	食べる・飲む・話す	徒歩
20:00	飲食街	食べる・飲む・話す	徒歩
22:00	帰宅		公共交通機関・徒歩



取組みの方向性

- ① 商店街の魅力発信
- ③ 道路空間の再整備
- ④ 既存公共空間の機能強化

将来ビジョンの街並みイメージ

歩きやすさ

心地良さ

賑わい

触れ合い

皆で育てる

戦略5 : 休日の持続的な賑わい創出

- 社会実験では休日の日中に長町駅・長町一丁目駅をファミリー世帯等多くの人が訪れ、賑わいが創出された。
- 休日に長町商店街エリアに行けば、いつもワクワクするような出来事に出合えるような持続的な賑わいを創出する。

主なターゲット場所 : 長町駅西口広場・リップルロード・長町商店街のお店／道路
 主なターゲット日時 : 休日
 主なターゲット区分 : 太白区内外のファミリー世帯

★過ごし方の例

時間	場所	行動	移動手段
11:00	リップルロード	遊ぶ・食べる	公共交通機関・徒歩
12:00	長町商店街のお店／道路	歩く・食べる・買う／休む	徒歩
13:30	長町駅西口広場	遊ぶ・食べる・休む	徒歩
15:00	帰宅		公共交通機関・徒歩



取組みの方向性

- ① 商店街の魅力発信
- ③ 道路空間の再整備
- ④ 既存公共空間の機能強化
- ⑤ エリアマネジメントの推進
- ⑥ 多様な主体の参画

戦略6 : 学生活動のフィールド活用強化

- ・ 周辺には高校や大学があるほか、長町駅が交通結節点(スクールバスなど)として使われている特徴を活かす。
- ・ 学生がやりたいと思ったことをすぐ実践できるようなフィールドを提供し、エリアの魅力を育てていく。

主なターゲット場所 : 長町駅西口広場・リップルロード・長町商店街エリア全体
 主なターゲット日時 : 平日・休日
 主なターゲット区分 : 学生(高校生・大学生)

★過ごし方の例

時間	場所	行動	移動手段
16:00	(学校から)下校		公共交通機関・自転車・徒歩
16:30	長町駅西口広場／リップルロード	集まる・話し合う・考える	徒歩
18:00	帰宅		公共交通機関・自転車・徒歩
(休日)	長町商店街エリアのイベント	企画・運営	



取組みの方向性

- ① 商店街の魅力発信
- ④ 既存公共空間の機能強化
- ⑥ 多様な主体の参画

取組みの方向性	街並み活用戦略						実践メニュー(例)	早期着手 想定項目
	1	2	3	4	5	6		
①商店街の魅力発信	○	○	○	○	○	○	商店街マップの作成・配布(主にデジタル)	
							長町らしさの活用、新たな取組み(マルシェ、アート、トレッキングなど)による魅力の仕掛けづくり	
②開業支援の強化		○					空き店舗の調査	✓
							オーナーとの意見交換	✓
							開業支援の取組みのとりまとめ・配布	
							チャレンジショップ(空き店舗実験)の仕組みづくり・実施	✓
							マーケティングやチャレンジショップの募集等の店舗誘致、オーナーとのマッチング	✓
③道路空間の再整備	○		○	○	○		歩道の安全対策・バリアフリー化	
							車線減少(歩道拡幅)を伴う歩道の再整備	
							ほこみちの指定	
④既存公共空間の機能強化 (長町駅西口広場・長町駅前プラザ、 リップルロード)	○		○	○	○	○	芝生広場や給排水・電源設備の設置	
							案内所機能強化(長町駅西口広場・長町駅前プラザ)	
							ほこみちの指定(リップルロード)	✓
							エリアマネジメント団体の設立・運営管理	✓
⑤エリアマネジメントの推進		○	○		○		エリアマネジメント団体の設立・運営管理	✓
							社会実験やイベント等を通したまちづくりPR	✓
⑥多様な主体の参画					○	○	エリアマネジメント団体の設立・運営管理	✓
							関係団体との協定等締結	

実践メニュー(例)のスケジュールと官民の役割分担

現在

将来

官

- ほこみちの指定
(リップルロード)

- 長町駅西口広場芝生広場や
給排水・電源設備の設置

- 長町駅西口広場案内所機能
強化

- リップルロード芝生広場や
給排水・電源設備の設置

- ほこみちの指定
(道路空間)
 - 歩道の安全対策・
バリアフリー化
 - 車線減少(歩道拡幅)
を伴う歩道の再整備
- ※交通WGで検討

官民

- 社会実験やイベント等を
通したまちづくりPR

- 関係団体との協定等締結

- 開業支援の取組みのとりまとめ・配布

民

- 空き店舗の調査

- チャレンジショップ(空き店舗
実験)の仕組みづくり・実施

- オーナーとの意見交換

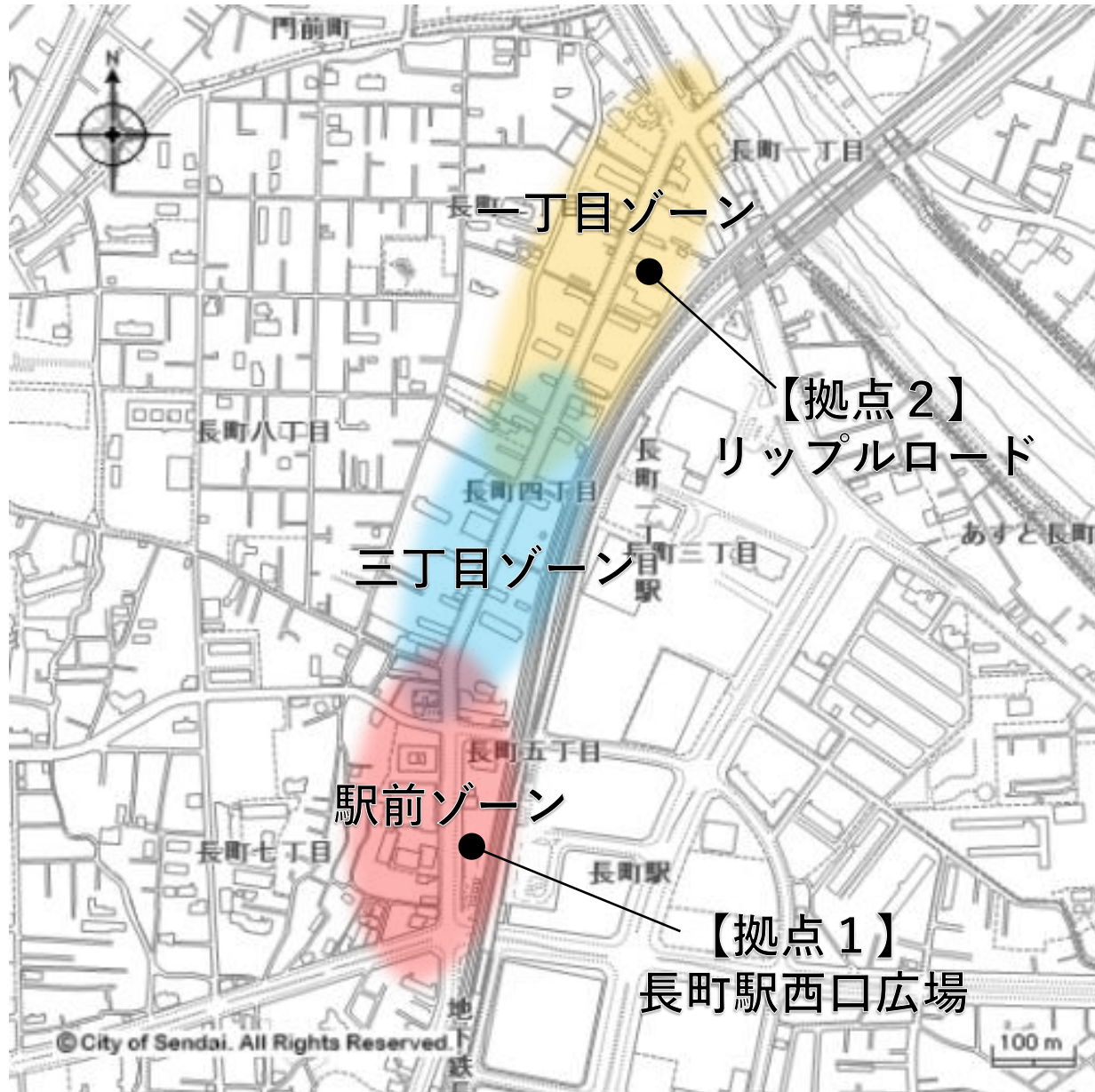
- マーケティングやチャレンジ
ショップの募集等の店舗誘致、
オーナーとのマッチング

- エリアマネジメント団体の
設立・運営管理

- 商店街マップの作成・配布
(主にデジタル)

- 長町らしさの活用、新たな取組み
(マルシェ、アート、トレッキングな
ど)による魅力の仕掛けづくり

街並みづくりイメージのゾーニング



拠点1 : 【長町駅西口広場】長町地区の始まりの拠点

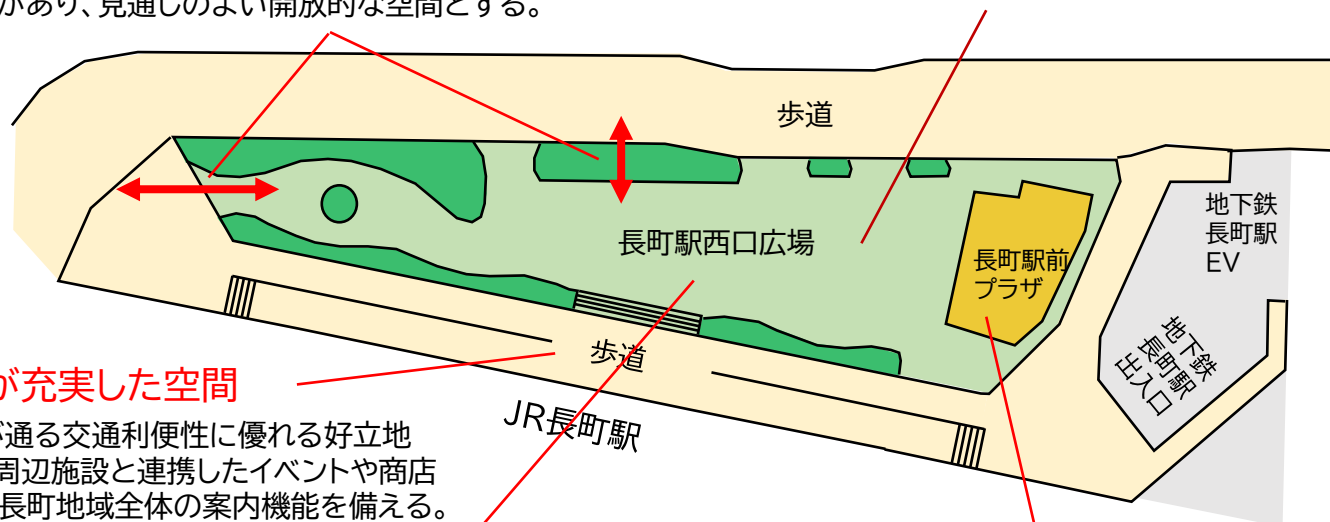
- 長町地区全体の中心に位置し、交通利便性に優れる好立地を活かし、まちとのつながりを感じられる空間を創出する。
- 多様な人がこの場所で何かを実施してみたい、参加してみたい、関わりたいと思うような始まりの空間を創出する。
- ここを拠点として、長町商店街エリアをはじめとした長町地区を歩いて移動したいと思うような空間を創出する。

オープンな空間

- ◆ 長町地域全体の始まりの拠点として、また、誰もが利用できる空間として認知度を更に向上させるため、まち(道路)と一体感があり、見通しのよい開放的な空間とする。

清潔な空間

- ◆ 誰もが利用しやすい、利用したいと思うような維持管理が行き届いた空間とする。



案内機能が充実した空間

- ◆ 多くの人が通る交通利便性に優れる好立地を活かし、周辺施設と連携したイベントや商店街の情報、長町地域全体の案内機能を備える。

企画実現のための空間

- ◆ 賑わい創出社会実験では、様々な企画の応募があった。思いついた企画が容易に実現できるよう、仮設ステージや備品(レンタル)、給排水・電源設備等の環境を整備する。

居心地の良い空間

- ◆ 多様な人が活動しやすいコミュニティスペースやカフェ等の環境を整備する。また、広場部分と長町駅前プラザが一体的に利用できるような開放的な空間とする。

拠点2 : 【リップルロード】未来に向けた交流拠点

- リップルは「波紋」「物事・影響が広がる様子」という意味。リップルロードを拠点に長町地区に影響を与える拠点を創出する。
- 誰もが気軽に立ち寄り、コミュニケーションが取れるような交流空間を創出する。
- ここを拠点に、長町商店街エリアのお店や周辺施設を歩いて移動したいと思うような空間を創出する。

空間の認知度向上

- ◆ 社会実験や企画等の実施を通して、誰もが活用できる空間であることを広める。

コミュニティ空間

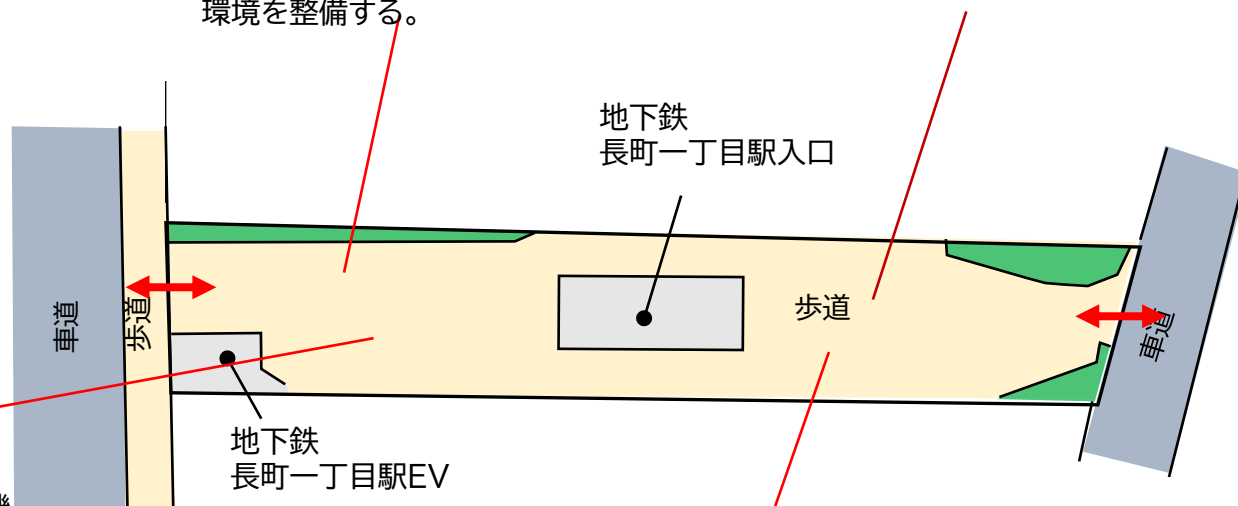
- ◆ 下校や帰宅時に立ち寄って、コミュニケーションが取れるよう、テーブルや椅子等の環境を整備する。

清潔な空間

- ◆ 誰もが利用しやすい、利用したいと思うような維持管理が行き届いた空間とする。

案内機能が充実した空間

- ◆ 施設や史跡等が周辺にある特性を活かし、周辺施設と連携した案内機能を備え、ここを拠点とした活動が活発になるような空間とする。
- ◆ また、空き店舗等の支援情報や商店街のお店情報を取得できる案内機能を備える。



滞在・賑わい空間

- ◆ 休日には飲食出店や遊び場が展開されるなど、誰もが気軽に立ち寄れるような空間を目指す。